

AcanoおよびCisco Meeting Server(CMS)のIPルーティングルール

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[Acano/CMSサーバに適用されるIPルーティングルールはどれか？](#)

[すべてのIPルーティングテーブルを表示する方法 \(インターフェイスごと\)](#)

[デフォルトインターフェイスを確認して変更する方法](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、AcanoサーバまたはCisco Meeting Server(CMS)サーバのIPルーティングルールについて説明します。AcanoサーバまたはCMSサーバには、それぞれ独自のデフォルトゲートウェイを持つ複数のインターフェイスを設定できます。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- CMSコンポーネント：
 - WebBridge(WB)
 - NAT(TURN)サーバでのリレーを使用したトラバーサル
 - CallBridge(CB)
- 基本的な IP ルーティング

使用するコンポーネント


このドキュメントの情報は、バージョン2.3.xのCisco Meeting Serverに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認して

ください。

背景説明

ここでの唯一の制限は、4ポートスイッチ上の異なるインターフェイスが異なるサブネットに存在する必要があることです。そうしないと、設定でルーティングの問題が発生する可能性があります。例外として、ADMINインターフェイスを持つハードウェアXサーバは、『[CMSインストールガイド](#)』で説明されているように、このADMINインターフェイスを他のインターフェイス (A/B/C/D)と同じサブネットに持つことが許可されています。

 注: Cisco Meeting Serverの2つのインターフェイスを同じサブネットに配置しないでください。唯一の例外は、物理Acano Xシリーズサーバの管理インターフェイスが他のインターフェイス(A ~ D)と同じサブネット上に存在でき、一般的な導入であることです。

たとえば、応答がどのインターフェイスから送信されたかを確認するために、TURNサーバコンポーネントでバインディング要求を受信する際にルーティングロジックを知る必要がある状況が発生する可能性があります。

Acano/CMSサーバに適用されるIPルーティングルールはどれか？

IPルーティングロジックは、接続がユーザデータグラムプロトコル(UDP)か伝送制御プロトコル(TCP)かによって異なります。


TCPの場合は、新しい接続であるか、着信への応答であるかにかかわらず、図のフローチャートを使用して、どのIPルーティングロジックがご使用のケースに適しているかを見つけることができます。

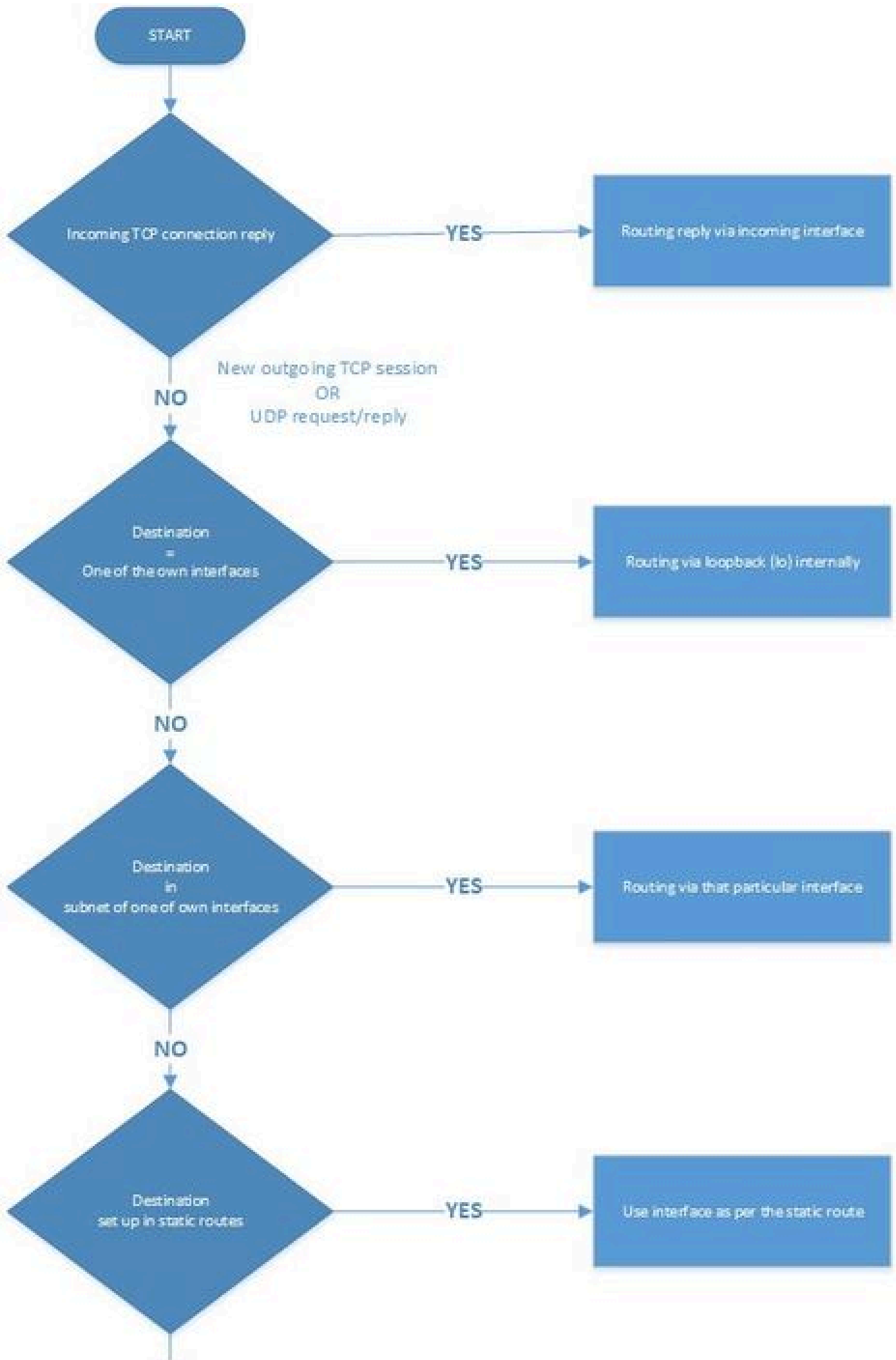
着信TCP接続応答

Acano/CMSサーバは、(すでにTCP接続が存在するため) 要求を受信したインターフェイス自体の着信TCP接続に応答します。

アウトバウンドTCP接続またはアウトバウンドUDPパケット

両方のシナリオについて、このフローチャートに従って、これらのIPルーティングルールに従います(および着信TCP接続応答の最初のステップ)。

 注: このロジックは、新しい発信UDPパケットの作成、または受信パケットへの応答として送信されるUDPパケットに適用されます。




ipv4 bの有効化

無効にする
間くd bを回す
有効にする

- 次のコマンドを使用して、エッジサーバから内部コアサーバにトラフィックをルーティングするためのスタティックルートを追加します。

```
ipv4 b route add <アドレス>/<プレフィクス長>
```

 注：LBとWBは着信TCP接続に対してのみ反応するため、必要なのはTURN用のUDPパケットのルーティングを設定することだけです。したがって、この操作はインターフェイスBに対して行います。また、当然のことながら、インターフェイスBのゲートウェイがCBにルーティングできることを確認します。

たとえば、コアサーバのIPアドレスが192.168.0.100/24の場合、このコマンドはipv4 b route add 192.168.0.100/24 またはipv4 b route add 192.168.0.100/32にする必要があります。

- 外部TURNサーバインターフェイス(D)をトラフィックのデフォルトインターフェイスにします。

ipv4 dデフォルト

確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)
- [Collaboration Solutions Analyzerツール](#)
- [CMSドキュメント](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。